

問 集団的自衛権行使容認に 反対の要望を

答 国民の議論の進展を注視



集団的自衛権に対するデモのニュース



深沢宏美 議員

問 自民党安倍内閣は、解釈改憲による集団的自衛権行使容認で、海外で戦争ができる国にしようとしているが、町長の考えは。

町長 専門家や世論でも意見が分かれ、拙速な結論は避ける。

問 「憲法9条を守れ」の声が増え6割を超え、9条を守り続けた日本国民にノーベル平和賞がノミネートされているが、町長の考えは。

町長 日本が戦後平和を貫き通した原点であり、

9条の果たした使命は大きい。

問 イラク戦争では日本は犠牲者ゼロだが、NATO諸国は1031名の犠牲者を出している。武器不保持、戦争放棄の憲法9条を守るよう、要望を上げる考えは。

町長 改憲、護憲等、国民の議論の進展を注視する。

問 昨年6月には庁舎に自衛官募集の垂れ幕を掲げ、広報で自衛隊入隊者の激励会や戦闘機のパイロットを称賛する自

衛隊のアピールは慎むべきでは。

町長 災害発生時の復旧に当たるなど、必要性は十分認識。募集活動、広報支援の掲載、懸垂幕は今後も続ける。

問 平和だからこそ観光立町も成り立つ、庁舎周辺整備のため取り払われた非核平和都市宣言の標柱を早急に整備する考えは。

総務課長 今年度新たな標柱を設置する予定。

問 デマンド交通の黒磯駅まで乗り入れは

答 事業者の圧迫となり調整を行う

問 3月に行われたアンケートでは、毎日運行、目的地を黒磯駅まで延ばしてという意見が

勢だが、考えは。

企画財政課長 今後アンケートを続け、本格運

行に向けていく。

問 町外は民間路線バスを利用と聞くが、黒磯駅まで目的地を広げるのか、町外は公共交通に任せるのか、考えは。

企画財政課長 町外に

乗り入れた場合は、事業者の圧迫となる。調整を行い、よりよいデマンド交通ができるよう対応する。